

# 研 究 活 動

(2009年10月～2010年9月)

## 心理学科

### 池田豊應

B (論 文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(11) —スタッフにとってのグループ経験・上—	共著	2010年3月	愛知学院大学, 心理臨床研究, 第11号	池田豊應, 荻須亜矢子, 岩本吏佐子, 熊谷直人, 桃木徳博	pp.35-46
2. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(11) —スタッフにとってのグループ経験・下—	共著	2010年3月	愛知学院大学, 心理臨床研究, 第11号	池田豊應, 荻須亜矢子, 岩本吏佐子, 熊谷直人, 桃木徳博	pp.47-62
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(42) —2009年度ヨコ体験グループのまとめ—	学会発表	2010年5月	東海心理学会第59回大会, 名古屋大学大学院環境学研究科	池田豊應, 菅理左香, 宮本崇弘, 石丸千絵, 鳥本麻衣, 井上丈夫, 石牧良浩	
2. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(43) —軽度発達障碍にたいする人間のかかわりの有効性—	学会発表	2010年5月	東海心理学会第59回大会, 名古屋大学大学院環境学研究科	池田豊應, 本城美沙子, 古川恵理, 鈴木規浩, 熊谷直人, 原賀学, 内藤育美	
3. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(44) —タテの育ち直りからヨコの広がりへ—	学会発表	2010年5月	東海心理学会第59回大会, 名古屋大学大学院環境学研究科	池田豊應, 高野隆司, 河合謙, 桃木徳博, 亀島亜矢子, 亀島輝義, 原賀吏佐子, 松本大輝	
4. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(11) —春合宿における全体セッションの検討—	学会発表	2010年9月	日本人間性心理学会第29回大会・熊本大学	池田豊應, 菅理左香, 高野隆司, 本城美沙子, ヨコ体験グループ研究会	
5. 皮膚疾患への人間学的アプローチ —アトピー性皮膚炎のクライアントを通して—	学会発表	2010年9月	日本人間性心理学会第29回大会・熊本大学	森月義雄, 池田豊應	
6. 猫恐怖症中年女性の面接過程 —「現存在実現の空間モデル」による一考察—	学会発表	2010年9月	日本人間性心理学会第29回大会・熊本大学	桃木徳博, 池田豊應	
7. 「より良きポストベンションに向けての考察 —Aさんとのインタビュー調査による—」(龍川悦雄の発表)	座長	2010年9月	日本人間性心理学会第29回大会・熊本大学	池田豊應	
その他 (書評)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 書評：遠藤野ゆり著『虐待された子どもたちの自立 —現象学から見た思春期の意識—』(東京大学出版, 2009)	単著	2010年9月	人間性心理学研究28;1 (日本人間性心理学会)		pp.117-119

## 伊藤元雄

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 幾何学的図形の多角形化が視覚誘発電位に及ぼす効果	共著	2009年12月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要, 第5号	伊藤元雄, 古里淑乃, 菅田達也, 佐部利真吾	pp.1-6
2. 幾何学的形態に対する視覚誘発電位—図形の形と空間の方位の効果—	単著	2010年3月	心身科学, 第2巻第1号		pp.1-8
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 図形の知覚と視覚誘発電位の関係—図形の形の効果(32)—	学会発表	2010年9月	日本心理学会第74回大会, 大阪大学	伊藤元雄	p.479

## 岡本真一郎

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. わかりやすさとコミュニケーションの心理学(対面コミュニケーションをわかりやすくする)	分担執筆	2010年	朝倉書店	海保博之	pp.128-150
2. ことばの社会心理学(第4版)	単著	2010年10月	ナカニシヤ出版		pp.1-273
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. ことばと社会：心理学的アプローチの可能性と問題点	ワークショップ指定討論者	2010年9月	日本心理学会第74回大会, 大阪大学	唐沢穰(企画者)ほか	

## 生越達美

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 「うつ状態」を考える—桃太郎と竹脇無我氏に基づきつつ—	単著	2009年3月	愛知学院大学, 心理臨床研究, 第11号	愛知学院大学	pp.23-33
2. 空へ, 地へ, 一歩前へ—心身症状を訴える女子生徒のカラージュ療法—	単著	2010年8月	カラージュ療法学研究, 第1巻	日本カラージュ療法学会	pp.65-80
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2009年10月	愛知県立春日井南高校	生越達美	
2. 近年における職場不適応・うつ傾向を考える	講演	2009年10月	岡崎公衆衛生センター	生越達美	
3. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2009年10月	愛知県立春日井南高校	生越達美	
4. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2009年10月	愛知県立瑞陵高校	生越達美	
5. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2009年11月	愛知県立春日井南高校	生越達美	

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
6. 近年のうつ状態への対処をめぐって	講演	2009年12月	愛知県医師会館	生越達美	
7. 中高年におけるQOLと生き方をめぐって	講演	2009年12月	東海クラブ講演室	生越達美	
8. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2009年12月	愛知県立春日井南高校	生越達美	
9. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2010年1月	愛知県立瑞陵高校	生越達美	
10. 近年の若年社員における適応障害について—自尊感情と過剰適応を中心に—	講演	2010年1月	愛知産業保健推進センター, セミナー	生越達美	
11. 「うつ状態」をめぐって	講演	2010年2月	愛知県医師会館(産業医継続研修会)	生越達美	
12. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2010年2月	愛知県立春日井南高校	生越達美	
13. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2010年2月	愛知県立瑞陵高校	生越達美	
14. 「うつ」を考える	講演	2010年4月	愛知県産業保健推進センター	生越達美	
15. “人生の危機”をめぐって	講演	2010年7月	愛知県医師会館	生越達美	
16. 主訴・症状・リファーマをめぐって	講演	2010年7月	愛知県医師会館	生越達美	
17. コラージュ療法の特質とは	指定討論者	2010年8月	日本コラージュ療法学会第2回大会シンポジウム「コラージュの本質をめぐって」	佐藤仁美, 生越達美, 森谷寛之, 山上栄子, 西村喜文	
18. 人生の危機をめぐって	講演	2010年9月	愛知産業保健セミナー	生越達美	

### 齋藤眞

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 伊藤誠洋先生の事例論文へのコメント	単著	2010年2月	場としての臨床(愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要), 第14巻		pp.106-108
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 平成21年度教育相談地域支援研修会	講師	2010年1月	三重県総合教育センター	齋藤眞	
2. 「居場所」がないままに流される女性	学会分科会発表	2010年4月	日本ユング心理学会 Gsv	齋藤眞	

### 酒井亮爾

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 小学生におけるいじめ(3)	単著	2009年12月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要, 第5号		pp31-39
2. 小学生におけるいじめ(4)	単著	2010年3月	心身科学, 第2巻第1号		pp.95-103

## 杉下守男

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 介護予防のための健康動作法の効果に関する研究	指定 討論者	2009年10月	日本臨床動作学会第17回学術大会, 鹿児島市	岸野靖子	
2. 学会主催臨床動作法研修会	講師	2009年10月	第18回学会主催研修会, 鹿児島市	講師：成瀬悟策, 鶴光代, 針塚進, 杉下守男他	
3. 学会認定臨床動作法研修会	講師	2009年12月	第6回臨床動作法関西ワークショップ, 京都市	講師：成瀬悟策, 鶴光代, 中島健一, 杉下守男他	
4. アトピー性皮膚炎者の動作体験と皮膚温度変化の検討	指定 討論者	2010年9月	日本臨床動作学会第18回学術大会, 東京都	加藤奈保美, 渡邊岸子	
5. 学会主催臨床動作法研修会	講師	2010年9月	第20回学会主催研修会, 東京都	講師：成瀬悟策, 鶴光代, 針塚進, 杉下守男他	

## 高木浩人

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. よくわかる組織論	分担 執筆	2010年4月	ミネルヴァ書房	田尾雅夫	pp.26-27, pp.46-47, pp.60-63, pp.86-87, pp.90-93, pp.140-141

## 田畑 治

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 院生の事例検討による一考察 —「ハーバート・ブライアンの事例」を通して—	共著	2010年3月	愛知学院大学, 心理臨床研究, 第11号	大山易志, 河合謙, 佐藤絵里, 藤堂吉基, 森月義雄, 松田綾子, 田畑治	pp.7-18
C (翻訳・資料)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. パーソンセンタード療法(プロチャンスカ, J. O. & ノークロス, J. C. 著 津田彰・山崎久美子(監訳)心理療法の諸システム—多理論統合的分析(第6版)—	共著	2010年6月	金子書房 総頁 pp.698	(篠田瑛子, 坂本真也, 各務秀昭, 楢木雄史の協力)	pp.152-189
2. 臨床心理士養成大学院校数の変遷の彼我—アメリカと日本との差異—	単著	2010年9月	日本臨床心理士養成大学院協議会報 第12号		p.6
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 傾聴ボランティアとは	講師	2010年2月	平成21年度傾聴ボランティア養成講座, 日進市社会福祉協議会	田畑治	
2. 臨床心理学—コミュニティの中での支援・援助	講師	2010年3月	佼成カウンセリング研究所, 大阪市	田畑治	

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
3. 管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー (中部ブロック)	講師	2010年 5月	総務省人事・恩給局, 名古屋市	田畑治	
4. 心理学の現在と未来—臨床心理学: PCAの立場から—	シンポジウム	2010年 5月	東海心理学会第59回大会, 名古屋大学大学院環境学研究科	田畑治	
5. 聴くことと話すこと—名古屋いのちの電話・第20期養成講座	講師	2010年 8月	愛知いのちの電話協会, 名古屋市	田畑治	
6. 学校コンサルテーション(第15回学校臨床心理士全国研修会・研修会準備委員会企画)	司会	2010年 8月	第15回学校臨床心理士全国研修会, 昭和女子大学	田畑治	
7. 発達障害: 中学校(第15回学校臨床心理士全国研究会・学校臨床心理士WG企画)	講師	2010年 8月	第15回学校臨床心理士全国研修会, 昭和女子大学	田畑治, 江口昇勇	
8. 心理臨床研究の現状と課題—研究助成の観点から—(日本心理臨床学会編集委員会企画・シンポジウム)	シンポジウム	2010年 9月	日本心理臨床学会第29回大会, 仙台, 国際センター(当番校: 東北大学)	深津千賀子, 田畑治, 皆藤章	
9. 別室登校生徒に相談員として関わった3年間の活動—相互意識と折り合いの観点から—(西村彩の研究発表)	司会	2010年 9月	日本心理臨床学会第29回大会, 東北大学	田畑治	
10. 大学生対象のエンカウンター・グループで育まれるタテとヨコの関係	学会発表	2010年 9月	日本人間性心理学会第29回大会, 熊本大学	猿田実和, 田畑治	
11. グループで参加者の心理的安全性を高める為には—実践上の工夫—(本山智敬・三國牧子・村久保雅孝・永野浩二・都能美智代・下田節夫の研究発表)	座長		日本人間性心理学会第29回大会, 熊本大学	田畑治	

## 千野直仁

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Controlling the two kinds of error rate in selecting an appropriate asymmetric MDS model.	共著	2010年 3月	心身科学, 第2巻第1号	Chino N, Saburi S	pp.37-42
2. 幼児のう蝕有病と生活習慣・生活環境複合要因	共著	2010年 3月	心身科学, 第2巻第1号	大須賀恵子, 千野直仁	pp.17-24
3. 一対比較データのための最尤非対称多次元尺度構成法の適用事例—東アジア諸国及び関係国間の友好度データの分析—	共著	2010年 3月	心身科学, 第2巻第1号	佐部利真吾, 千野直仁	pp.43-48
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 生体ゆらぎのダイナミクスとその解析—IEEE: Franklin V. Taylor Memorial Award 受賞記念—	ワークショップ指定討論者	2010年 9月	日本心理学会第74回大会, 大阪	企画・司会者: 岡林春雄, 発表者: 雄山真弓, 苗鉄軍, 指定討論者: 千野直仁, 河合優年, 鈴木平	
2. 日本における数理心理学の展開 XVIII	ワークショップ指定討論者	2010年 9月	日本心理学会第74回大会, 大阪	企画・司会者: 岡林春雄, 発表者: 今水寛, 岡田謙介, 尾崎幸謙, 指定討論者: 繁樹算男, 千野直仁他	

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
3. 特別セッション「非対称データの解析 I」	オーガナイザー	2010年9月	日本行動計量学会第38回大会, 埼玉	オーガナイザー： 岡太彬訓, 千野直仁, 司会者：岡太彬訓, 発表者：小杉考司他	
4. 特別セッション「非対称データの解析 II」	オーガナイザー・発表者	2010年9月	日本行動計量学会第38回大会, 埼玉	オーガナイザー： 岡太彬訓, 千野直仁, 司会者：岡太彬訓, 発表者：千野直仁, 佐部利真吾他	
5. 特別セッション「非対称データの解析 III」	オーガナイザー・司会者	2010年9月	日本行動計量学会第38回大会, 埼玉	オーガナイザー： 岡太彬訓, 千野直仁, 司会者：千野直仁, 発表者：齊藤裕一, 宿久洋他	
6. 特別セッション「複雑系のデータ解析 (1)」	討論者	2010年9月	日本行動計量学会第38回大会, 埼玉	オーガナイザー： 水嶋友昭, 司会者： 丸山久美子, 討論者：岩崎学, 千野直仁	
7. 特別セッション「複雑系のデータ解析 (2)」	討論者	2010年9月	日本行動計量学会第38回大会, 埼玉	オーガナイザー： 水嶋友昭, 司会者：丸山久美子, 討論者：岩崎学, 千野直仁	

## 八田純子

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 大学生が抱える日常のトラブルと他者への開示について	単著	2009年12月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要, 第5号		pp.41-46
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 食べる～心理学の視点から～	講師	2009年11月	豊明市豊栄大学第3回学級, 豊明	八田純子	
2. Age-related difference in hemisphere function: Evidence from the Yakumo-study	学会発表	2010年6月	International Neuropsychology Association 2010 Mid-year Meeting at Krakow, Poland	Hatta T, Yoshizaki Y, Katoh K, Iwahara A, Ito E, Nagahara N, Hatta T & Hatta J	
3. 発達障害児への理解と対応 — 子どもをみる視点と対応の工夫—	講師	2010年8月	平成22年度教員免許状更新講習, 名古屋	八田純子	
4. グレーゾーンの子どものための支援と親への意識づけ	講師	2010年8月	日進市保育園職員研修会, 日進	八田純子	
5. 自閉症と診断された女兒への発達支援	学会発表	2010年9月	日本心理臨床学会第29回大会, 仙台	今村真実, 横木由美子, 尾藤ヨシ子, 八田純子	
6. 高齢者のリズィリエンシー	学会発表	2010年9月	東北心理学会第64回大会, 仙台	八田純子	
7. 中高年者の認知機能の個人差について	学会発表	2010年9月	日本心理学会第74回大会, 大阪	八田武志, 岩原昭彦, 伊藤恵美, 永原直子, 八田武俊, 八田純子, 堀田千絵	

吉川吉美

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 臨床動作法	ワークショップ講師	2010年5月	日本学生相談学会第28回大会		
2. 「北高生に望む事」	講演		岐阜県立郡上北高等学校		
3.	ポスターセッション司会	2010年9月	日本心理臨床学会第29回大会		
4. 臨床動作法	ワークショップ講師	2010年9月	グナン師範大学〈ベトナム国〉		
5. 頭部の〈脱毛〉が〈発毛〉に転じる時に体験されること	学会発表(共)	2010年9月	日本臨床動作学会第18回大会		
6.	発表司会	2010年9月	日本臨床動作学会第18回大会		
7.	講師	2010年9月	日本臨床動作学会第19回学会研修会		
8. 臨床動作法の工夫	講演		福島ストレスマネジメント研究会		
9. 臨床動作法適用により脱毛症が功奏した事例に共通する要素	学会発表(共)	2010年11月	日本心療内科学会第15回学術大会		